

1978～1979

吉村ガバナー公式訪問報告書



鹿児島西ロータリークラブ

1978. 9. 13

附 表

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに 公平か
3. 好意と 友情を 深めるか
4. みんなのために なるか どうか

ロータリー綱領

ロータリーの綱領は有益な事業の基礎として、奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成するにある。

1. 奉仕の機会として知り合いを拡めること；
2. 実業及び、専門職業の道徳的水準を高めること；
あらゆる有用な職業は、尊重されるべきであると云う認識を深めること；
そしてロータリアン各自が、職業を通じて社会に奉仕するためにその職業を品位あらしめること；
3. ロータリアンすべてが、その個人生活、職業生活及び、社会生活に常に、奉仕の理想を適用すること；
4. 奉仕の理想に結ばれた実業人と、専門職業人の世界的親交によって国際間の理解と親善と平和を推進すること。

手をさし伸べよう

REACH OUT

世界の近い将来がどうなるかは、われわれの手中……他人のことに関心を持ち、他人のために奉仕し、他人に向って手をさし伸べる人々の手中にあります。ロータリアンとは奉仕のために双手を広げている人々、他人の生活を豊かにするために喜んでその手をさし伸べようとする人々のことであります。

ロータリアンは、奉仕の道を切り拓く開拓者として、この75年の間、単にロータリー・クラブの会員であるというだけでなく、会員をまことのロータリアンとする実践行動によって、奉仕の冒険に果敢に挑んで来たのであります。この「行動する」ロータリアンは、未来の形成に寄与する自らの力を信じて、人間の必要とするものを満たそうと、その手をさし伸べるのであります。

超我の奉仕ということは、ありふれた理念ではありません。

同情、友情、理解といったものに乏しい世界にあっては、奉仕という理念はまれにみる貴重なものであって、われわれがそのために時間と能力を費やし、そのために自分のすべてを捧げるだけの価値のあるものであります。そこで皆さん、他人のために奉仕の手をさし伸べようではありませんか。われわれは全力を尽そうではありませんか。

来るべき年度において、私の祈りは同時に皆さんの祈りでもあると思いますが……その祈りとは、ヘレン・ケラーが次のような言葉で述べているものであります。「われわれの祈るべきことは、自分の力にふさわしい任務が与えられることではなくて、自分の任務にふさわしい力……われわれの心の扉を永遠に叩きつ

づける大きな望みを抱いて前進する力が与えられることで
なければならない。」

職域で。自分の従業員、顧客、同僚、競争業者、供給業者にロータリーの奉仕の理想を伝えよう。仲間のロータリアンに、自分の職業上の高い道徳的目標を示そう。職業指導その他のプログラムを通じて、若者たちが、終生、有意義な仕事をやり抜き、市民としてもりっぱにその責任を果していけるように、準備をさせるようにしよう。

会場で。関心の薄れてきている会員がクラブ奉仕に対する意欲を取り戻すように激励しよう。新しい会員に友情の手をさし伸べよう。そして「行動する」ロータリアンとなるようにその人たちを励まし、力づけよう。会員に推薦したいと思っている人たちに、自分のロータリーに対する熱意を伝えよう。その人たちに、われわれの「奉仕の冒険」に加わるように勧めよう。

街に出て。自分の地域社会で対策の必要に迫られている問題を見つけ、その解決に当ろう。老人には理解と関心を、青少年には指導と激励を。インターアクト、ローターアクト、RYLAによって、若い人たちが奉仕に参加できる機会を与えよう。思い切ってやってみよう。たとえ力不足と思っても。

広く世界で。人と人ががじかに接触して互いに理解しあい、信頼しあうような空気をつくり出そう。ロータリー財団、青少年交換、組み合わせ地区およびクラブ・プログラム、ならびに世界社会奉仕を通じて、あらゆる国の人々に手をさし伸べよう。

クレム・レヌーフ
国際ロータリー会長

目 次

クラブ協議会プログラム	1
役員並びに委員会名簿	2
会長報告	3
幹事報告	4
クラブ概況	5
会計報告	6
クラブ奉仕委員会	6
出席委員会	7
職業分類委員会	8
会員選考委員会	8
会員増強委員会	8
プログラム委員会	9
広報委員会	9
親睦委員会	9
ロータリー情報委員会	10
会報・雑誌委員会	11
S . A . A	11
職業奉仕委員会	12
社会奉仕委員会	12
青少年奉仕委員会	13
国際奉仕委員会	14
ロータリー財団委員会	14

(別表及び別冊)

昭和53年度予算書
充填・未充填職業分類表
委員会活動方針
会員名簿

クラブ協議会プログラム

1978. 9. 13

於 鶴鳴館

開 会 の 辞	副 会 長	川 上 鉄 太 郎
ロータリーソング斉唱	奉仕の理想	
歓迎の辞並びに ガバナー分区代理紹介	会 長	藤 安 辰 造
ガバナー挨拶	ガバナー	吉 村 武 文
会 員 紹 介 (食 事)		
会 長 あ い さ つ	会 長	藤 安 辰 造
幹 事 あ い さ つ	幹 事	三 角 桂 次 郎
会 計 報 告	会 計	岩 元 紀 彦
クラブ奉仕委員会	副 会 長	川 上 鉄 太 郎
出 席 委 員 会	委 員 長	新 原 剛
職 業 分 類 委 員 会	"	若 松 宇 治 彦
会 員 選 考 委 員 会	"	宇 治 野 純 章
会 員 増 強 委 員 会	"	永 井 利 承
プ ロ グ ラ ム 委 員 会	"	二 階 堂 正 明
広 報 委 員 会	"	水 淵 清 治
親 睦 委 員 会	"	鹿 海 武
ロータリー情報委員会	"	福 田 正 臣
会 報 ・ 雑 誌 委 員 会	"	和 田 吉 人
S . A . A	S . A . A	原 三 郎
職 業 奉 仕 委 員 会	委 員 長	平 岡 禎 吉
社 会 奉 仕 委 員 会	"	海 老 原 利 則
青 少 年 奉 仕 委 員 会	"	高 橋 司
国 際 奉 仕 委 員 会	"	川 畑 正 美
ロータリー財団委員会	"	徳 留 栄 次
講 評	ガバナー	吉 村 武 文
閉 会 の 辞	幹 事	三 角 桂 次 郎

西 R・C 役員・理事委員会名簿

(1978. 7 ~ 1979. 6)

会長	藤 安 辰 造	副会長(理事)	川 上 鉄 太 郎
幹事	三 角 桂 次 郎	副幹事	川 田 恵 一
会計	岩 元 紀 彦		
理事	平 岡 禎 吉	海老原 利 則	
	高 橋 司	川 畑 正 美	
S・A・A	原 三 郎	副S・A・A	吉 留 益
出席委員会	◎新原 剛	○渡辺 匡	木治屋克己 前田 好文 佐伯延次郎
		後藤 泰久	
職業分類委員会	◎若松宇治彦	○佐伯 寿郎	桜美 四郎
会員選考委員会	◎宇治野純章	○城 哲男	岩元 健吉 牧田 健二 新福 栄熊
会員増強委員会	◎永井 利承	○中村 善治	山田 裕三 岡元健一郎 橋口 十蔵
プログラム委員会	◎二階堂正明	○岩元 正二	池口 恵観 古木 圭介 柴山 一雄
広報委員会	◎水洧 清治	○徳沢 紀生	川村 洋 久保 政次
親睦委員会	◎鹿海 武	○米倉 清嘉	松田 徳平 柿市 高重 小正 芳史
		太原 春雄	谷山 寛 幸泉 芳良 中沢 省三
		軸屋 昭二	
ロータリー 情報委員会	◎福田 正臣	○瀬戸山 勝資	山下 静雄
会報雑誌委員会	◎和田 吉人	○中尾 正昭	池田 広 浜田 馨
		尾辻 省悟	大庭 昇
職業奉仕委員会	◎平岡 禎吉	○岩元 基	高井 敏治 外西 寿彦 池田 穰
社会奉仕委員会	◎海老原利則	○田原迫卓視	福田 敏之 鮫島志芽太 田平 礼章
		桜美 義明	
青少年奉仕委員会	◎高橋 司	(一般) ○内山 光男	下野 隆三 小園 正人
(インターアクト)	◎辻橋 滋	中村 俊雄	久保田彦穂 中村 一雄 藤 都喜七
(ローターアクト)	◎篤 辰雄	岩田 太一	河井 時義 林 其為 安田 正治
		小山 幸義	澤田貫太郎
国際奉仕委員会	◎川畑 正美	○鮎川 六男	徳田 基 光吉 正昭 岡山 栄
ロータリー 財団委員会	◎徳留 栄次	○肥後 克郎	岩男 秀彦
ロータリー 推薦委員会	◎川上鉄太郎	海老原利則	水洧 清治 平岡 禎吉 二階堂正明
		和田 吉人	

◎は委員長 ○は副委員長

会 長 報 告

会長 藤 安 辰 造

不肖私本年度の会長を命ぜられました。浅学非才の身でその柄でもないと思
いますが命ぜられました以上は一生懸命努力して行きたいと思しますので、い
つも乍らの会員皆様の心からの御支援と御協力を御願い申し上げます。

クレム・レヌーフRI会長のREACH OUT は直前会長のTargetを一步
前進されたものであり、職場で、会場で、街で広く世界でロータリーの理想を
実践する為に積極的に行動する様との事であります。

吉村武文ガバナーは之が実践として特に親睦と出席がロータリー活動を行う上
で基本であり重要である事を強調されて居ります。

私も吉村武文ガバナーの御考えを体してクラブの親睦、出席及青少年奉仕の活
動に目を向ける事を本年度の主たる目標にして行きたいと思ひます。

創立以来16年の当クラブも唯今創立当時の原点に立って現在のクラブのあり
方、進み方をよく見極めてロータリーの基本である親睦、出席を充実し、ロー
タリー情報によってロータリアンはいかにあるべきかを御互に研究し、又クラ
ブ定款細則を体得して今後の飛躍を期したく思ひ居ります。皆様の深い御理
解と御協力を得たいと思ひますのでよろしく御願い申し上げます。

幹 事 報 告

幹事 三 角 桂次郎

各委員会の活動が活発にできるように縁の下の力もちとして、努力していきたいと思っています。

定款・細則等々いろいろクラブの体制がためをやりたいと思っています。又、次年度役員がうまく活動するための半年前の準備のお手伝いもしたいと考えています。

ロータリー情報については、全会員が、ロータリアンとしての権利を理解し、それによってロータリアンとしての自覚を再認識してほしいのです。

ク ラ ブ 概 況

1. 創 立 年 月 日	昭和38年3月23日			
2. 承 認 年 月 日	昭和38年6月27日			
3. チャーターメンバー	25名(内現会員8名)			
4. 本年度当初会員	89名	退会者	1名	
		入会者	1名	
5. 現 在 会 員 数	正 会 員	63名		
	シニア・アクチブ会員	26名		
	計	89名		
6. 平 均 年 令	56.45才			
	最 高	82才	最 低	29才
	20才台	1名	30才台	4名
	40才台	21名	50才台	27名
	60才台	27名	70才台	8名
	80才台	1名		
7. 出 席 率	97.50%(53.7)			
8. 予 算	別紙の通り			
9. 入 会 金	25,000円			
10. 年 会 費	130,000円			
11. ビジター会食費	1,300円			
12. 会 報	毎週週報を発行			
13. ロータリアン誌	1名			
14. レビスタ誌	1名			
15. クラブ協議会	3回(あと6回)			
16. クラブフォーラム	(あと4回)			
17. 炉 辺 会 合	1回(あと3回)			

18. 理事會 定例……毎月第2週
臨時……必要に応じ随時

19. 委員長會議 1回

20. 会長・幹事會 県下R・C分 (あと2回)
市内R・C分 1回(あと1回)

會員會計報告

會計 岩元紀彦

資産台帳は、良く整備されており、財務事情については健全である。

クラブ奉仕委員会

委員長(副会長) 川上 鐵太郎

- 6月 8日 例会の後、6月3日4日両日の延岡における地区協議会の報告が行なわれた。
- 6月22日 クラブ協議会を開き、本年度各クラブ委員会を行なった。
- 7月 6日 新年度役員及び委員長會議を開く。
- 7月20日 クラブ協議会を開き、本年度活動方針並びに事業計画の発表を行った。
- 7月27日 クラブ協議会を開き、本年度予算の発表を行った。
- 8月10日 ファイヤ・サイド・ミーチングを開き、次の三つのテーマにつき3分科会に別れて夫々討議した。

1. 親睦について
2. 出席について
3. ロータリー情報について

8月24日 例会において、ファイヤ・サイド・ミーティングの討議内容について報告を3分科会リーダーによって行った。

8月24日 ファイヤ・サイド・ミーティングの討議の対象となった学習会を情報委員会主催で第1回を開く。今後毎月第3火曜日に2時間開くことを決定。

出席委員会

委員長 新原 剛

これといって取りあげる実績はありません。会長はじめ皆さんの努力によって

1. 52/7の出席率97.10% 前年度年間出席率96.47%に対して53/7の出席率は97.50%と単月ではありますが、対前年度、又前年同月の出席率を若干上廻って居ります。
2. 例年ですが、連続出席者に対して、記念品を贈り表彰を致しました。
3. 2回欠席者に出席の督励を葉書にてお願い致しました。
4. 昨年に引続き委員会別の出席率を週報に掲載し、出席の向上に努めました。
5. 前年と変わりませんが、次回の例会日をお知らせ致して居ります。

何れも今後引続いて実施していきたいと思えます。又、情報委員会等に協力してもらってロータリーの基本であります出席の大切な事を会員にくり返し強調していきたいと存じます。

職 業 分 類 委 員 会

委員長 若 松 宇治彦

職業分類はR・Cの正常の発展の基礎であるという認識にたつて3人の委員の充分な協議検討をへて理事会に相談して8月31日に分類表を作成した。

会 員 選 考 委 員 会

委員長 宇治野 純 章

今年度に入って未だ期間をそう経過していないので、業績というべきものはありませんから、当委員会の活動方針を示して御指導をお願いしたいと思います。

1. 基本方針

職業上ならびに社会的地位の重要な人で、ロータリーの奉仕の精神をよく理解でき、例会出席可能で、その意欲のある人を選考して報告したい。

2. 計 画

- (1) 例会出席可能で、その意欲もあるかどうかの点については、特に選考時留意する。
- (2) 選考すべき新入会員の数は、年度を通じ5名位を予定している。

会 員 増 強 委 員 会

委員長 永 井 利 承

新年度会員数 89名

8月31日現在 1名増、1名退会にて、会員数89名です。

プログラム委員会

委員長 二階堂 正 明

協議会(7/6)のプログラム委員会で活動方針について協議し、具体的に卓話の充実を期して、RCの楽しく内容のある運営に協力することとなり、会員の親睦をふかめ、相互の情報に資するため、会員卓話を部外者の卓話と交互に実施する。部外者の卓話も興味深く、しかも地域社会に対する会員の理解を深める方向で選択すること、の方針を決定した。

又プログラム委員会は全員で運営することとし、毎月委員交替で担当(卓話者の決定と紹介)することを決め、7-8両月実施した。

この両月はクラブ協議会その他日程がつかまって、卓話の機会がすくなく、会員1人、部外者3人である。今後は会員の卓話を短時間ずつでも実施する方針。

広報委員会

委員長 水 洵 清 治

全般が市内R・C 広報委員会活動に共通した問題点が多い為、市内R・C 広報正副委員長が9月8日、山形屋7階フェニックスに会合し、今後の広報活動について話し合う事になって居ります。

親睦委員会

委員長 鹿 海 武

今までのところ、これといった業績はありません。敢えていえば、受付業務を

整々を行い、会員並びにビジターとの親睦増進に努めたことと、県外ビジターの3分間スピーチを1回実施したことぐらいです。

今後の活動を期待して下さい。

ロータリー情報委員会

委員長 福田正臣

1. ロータリーについて、ロータリアンについて、じっくりと復習をし、お互いに疑問点を持ち寄って皆で考え、皆で自由討論をして勉強するという「ロータリー学習会」を作った。これは当クラブ会員の中の希望者の勉強会である。

第1回学習会を8月24日 夕に行なった。

参加者 12名

- 内容
- 1) 学習会の今後の運営法を決め、
 - 2) ロータリーについて総体的に各自が自由発言し
 - 3) 次回の学習のテーマを決めた。

今後、毎月1回(第3火曜日 夕方) 行なうことに決まった。

2. 例会に於て「ロータリー3分間情報」を行なうことにして居るが、これを開始した。

会員名簿

委員長 福田正臣

会報・雑誌委員会

委員長 和田吉人

1. 卓話の予告及び卓話の要旨を週報にのせている。
2. ロータリー情報に関する記事或いは、ロータリー教育に寄与する記事を週報にのせた。
3. ロータリアン誌をローターアクト・インターアクト（鶴丸・鹿児島高校）に配布した。
4. 週報の色及びデザインを改めた。

S・A・A委員会

S・A・A 原 三郎

1. 年度初めのため主として委員会別の座席配置を実施し、各委員会毎の親睦を深める事を先ず行った。
2. 会員相互の親睦を今まで以上に拡げる為に、テーブルにより座席を決め毎月変えて行きたい。
3. ニコニコボックスについては、会員の皆様から情報の提供をお願いして、増収に努める。

職 業 奉 仕 委 員 会

委員長 平 岡 禎 吉

1. ロータリー年度の当初にあたって、当クラブ全会員は、職業奉仕に対する各自の義務を再認識していただくよう要請した。これに基づいて、職業奉仕委員会は、すべてのクラブ員が「ロータリー精神をその職場に生かす」のを助ける仕事の調整をはかる任務がある。
2. 同時に各会員が、どのようにして、この義務を果たしているかを、ロータリークラブは知る権利を持ち、職業奉仕委員会は、それを見出す任務を遂行するために、会員の自己評価を実施する。
3. 職業奉仕賞をおくる。
4. 事例研究会をもって職業奉仕の実際を研究し、各自の反省に資すること。

社 会 奉 仕 委 員 会

委員長 海老原 利 則

1. 本年度の活動計画は
 - (1) 各家庭企業の余品供出によるRAC活動への協力
 - (2) 身障者養護施設への補助
 - (3) 小さな親切運動の提唱と実践
 - (4) 交通安全と火災防止運動への協力
 - (5) 産業災害特に建設災害防止の協力（視聴覚教育）
 - (6) 老人ホーム、寝たきり老人への援助
 - (7) ロータリー賞候補者の発掘
2. 現在迄の実績
 - (1) 産業災害防止のため安全教育用として建設業災害防止協会県支部にカラ

ースライド7巻を寄贈し、映写機は東京全本部に交渉し、特別無償を受け、視聴覚教育の体制整備に寄与した。8月20日より8月末迄に既に使用3回、約250名が使用した。

- (2) 青少年奉仕委員会と協力しRACに会員各自の中元及び家庭余品の蒐集をさせている。

青少年奉仕委員会

委員長 高橋 司

- 毎月初第1日曜RAC早朝清掃と施設訪問 7月, 8月
- RACミッドナイトミーチング 於青年会館 7月8・9日
- RACサマーキャンプ 於吹上浜天神ヶ尾 7月22・23日
- IAC県下合同協議会 於鹿児島中央高校 7月22日
- 青少年野外活動推進県下連絡協議会 於ホテル鶴鳴館 7月27日
- 鶴丸高校, 鹿児島高校 校長, 教頭, 指導教官と対談 7月, 8月
- IAC年次大会 於別府城島高原ニューグランドホテル 8月5・6日
- RAC県下連絡協議会 於城山観光ホテル 8月20日
- RA委員長地区連絡協議会 於卸本町東南RC 8月22日
- RACの奉仕活動として目下各家庭の余品供出と廃品回収を実施中

国際奉仕委員会

委員長 川畑正美

1. 当クラブ国際奉仕委員会としての本年度計画等について資料を作製，検討した。
2. 8月9日，鹿児島市3R・C合同委員会に出席，本年度交換学生の受入体制並びに年間スケジュールについて協議し，夫々について結論を得た。
3. 9月21日のクラブフォーラムに於て，52年度派米交換学生 桜井絹恵さんを招いてアメリカ滞在1年間について報告を兼ねた説明会をして戴く事しております。

ロータリー財団委員会

委員長 徳留栄次

現在のところ百万ドル食事以外実績なし。

今後の活動計画

国際理解と友好関係を増進するという「ロータリー財団」の目的達成促進のため

1. ロータリー財団の目的と活動について会員によく知らせ，その理解を深める。
2. 補助金候補者の推せん
3. 地元又は地区内に留学している他国のロータリー財団補助金受領者に我が国の理解を深めてもらう為のいろいろな機会の提供
4. ロータリー財団週間（11月15日を含む）の行事への参加
5. 百万ドル食事による財団資金の援助
6. 年間目標を300%とし，特に準フェロー会員の希望を募る。

